

特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」

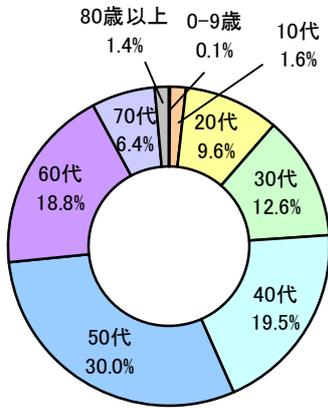
アンケート集計結果

開催期間：令和3年4月13日（火）～令和3年6月20日（日）（31日間）

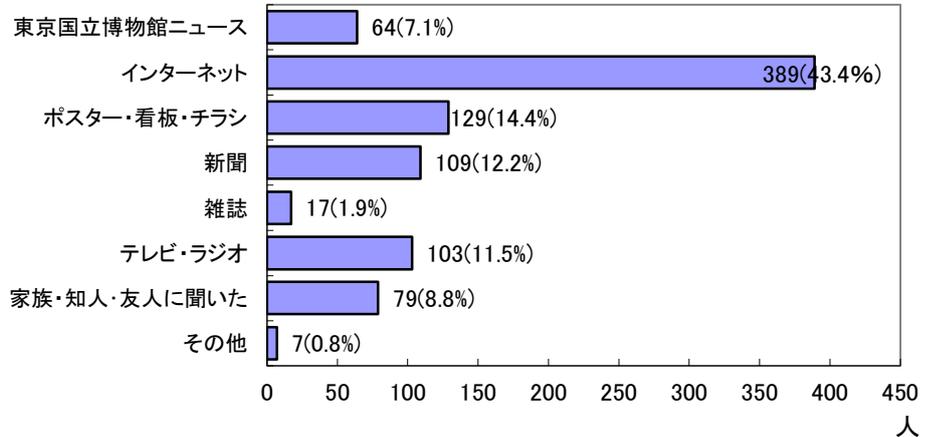
総入館者数：129,349人

回答者数：703人

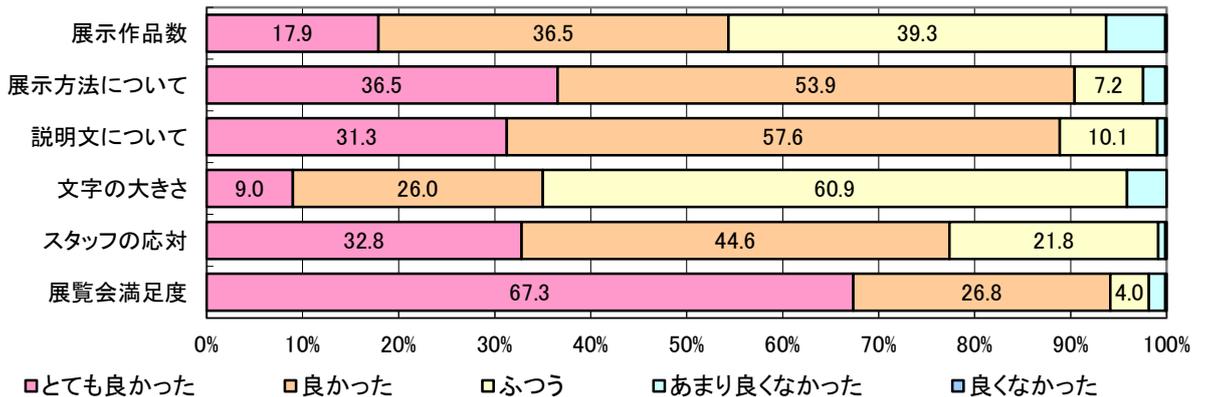
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・動く歩道によってスムーズに鑑賞することができた。
- ・会期延長によって観覧することができて、良かった。
- ・4巻の全場面が一堂に観覧できて良かった。
- ・展示室内の装飾（垂れ幕、プロジェクションマッピング等）が凝っていて、良かった。
- ・グッズ売り場が混雑・密になっていた。
- ・乙、丙、丁巻にも動く歩道を導入してほしい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	6.2	0.1
展示方法	2.3	0.1
説明文	0.9	0.1
文字サイズ	4.1	0.0
スタッフの対応	0.7	0.1
展覧会の満足度	1.7	0.1

(%)

本展は、国宝「鳥獣戯画」の甲・乙・丙・丁全4巻の全場面を、会期を通じて一挙公開しました。加えて、かつて4巻から分かれた断簡、さらに原本ではすでに失われた場面を留める模本の数々も集結し、<鳥獣戯画のすべて>をご堪能いただける、またとない機会となりました。さらに、「鳥獣戯画」が伝わる京都の高山寺を再興された明恵上人の魅力を、重要文化財「明恵上人坐像」をはじめとする高山寺選りすぐりの名宝などを通して迫りました。本展会期中には緊急事態宣言の発令に伴う臨時休館を行いました。会期の延長が実現し、非常に多くのお客様に、ご来館いただくことができました。また、臨時休館からの再開後には、館内消毒の徹底をはじめお客様のご協力もあり、無事に閉幕することができました。

本展覧会を観覧しアンケートに答えた94.1%の方から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことができました。高評価をいただいた要因の一つは、2015年に開催した鳥獣戯画展の課題を踏まえ、新たに導入した動く歩道により、混雑が緩和されたこと、手で巻物を動かしながら見る感覚を体験いただけたことと考えられます。その一方で、コロナ禍を受けて、グッズ売り場の配置・混雑対策へのご意見が寄せられました。

今度も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。